

宮崎県産 ブルーベリー葉粉末

—肝臓脂肪抑制剤で特許取得・美容・アイケア・新型コロナウイルス抑制作用—

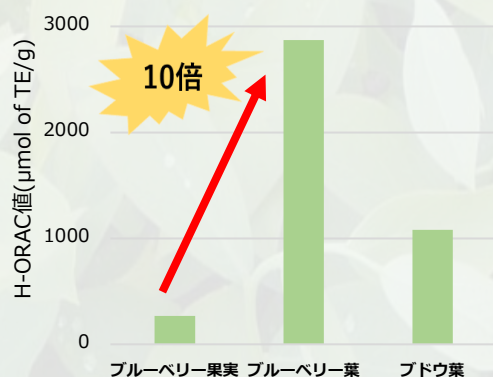
宮崎大学で育成されたブルーベリー新品種「くにさと35号」を使用



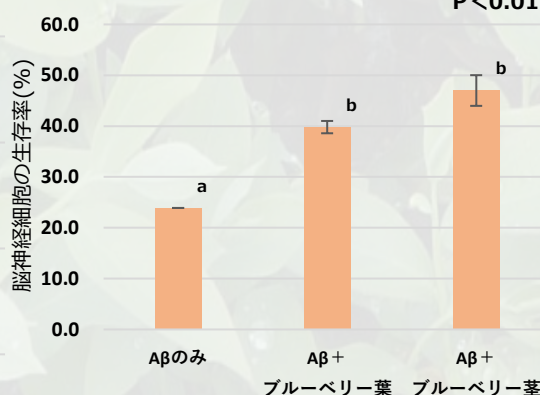
宮崎大学が宮崎県の特産物（約1500サンプル）の中から抗酸化活性やポリフェノール含量について網羅的に調査しました。その結果、ブルーベリー葉に高い抗酸化活性があることが確認されました！さらに、宮崎大学でラビットアイブルーベリーの品種改良を重ね、プロアントシアニジンが多く含まれる『くにさと35号』の育成に成功！宮崎県内でブルーベリーの無農薬栽培をしております。当社のブルーベリー葉粉末はプロアントシアニジンを15%以上で規格しております。

ブルーベリー葉粉末のin vitro試験

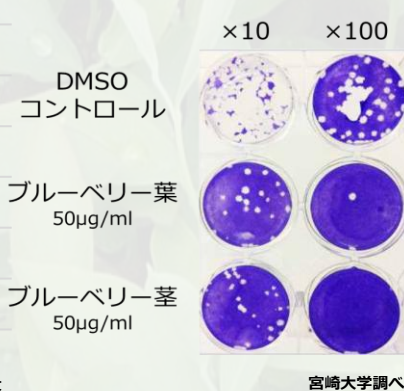
ブルーベリー葉の抗酸化活性に関して



脳神経細胞における細胞保護効果

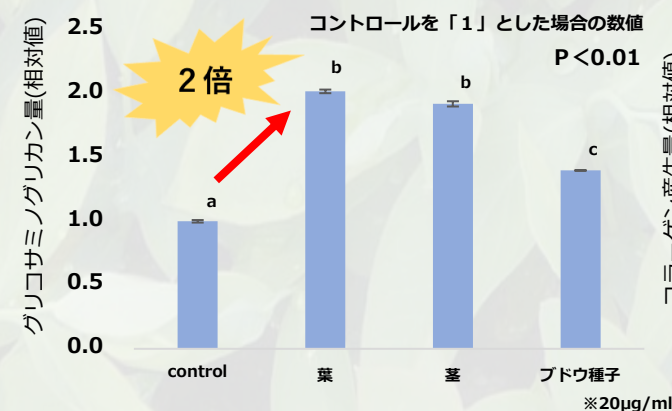


新型コロナウイルスの抑制作用

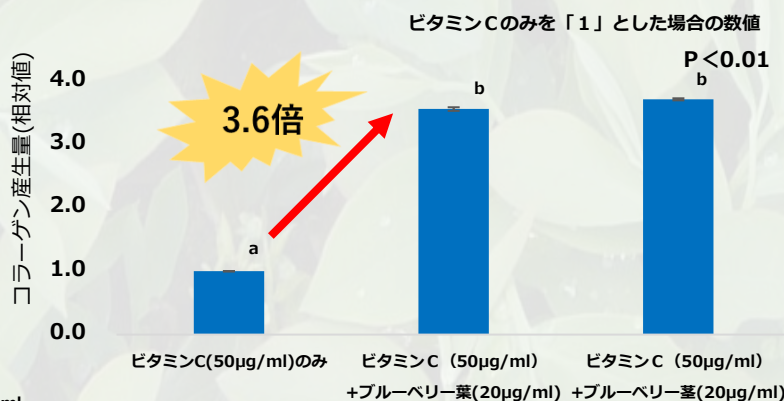


ブルーベリー葉の抗酸化力（ORAC値）は果実よりも10倍程度あることが確認されております。また、くにさと35号由来のブルーベリー葉はアミロイドβ（Aβ）による細胞障害の抑制効果や新型コロナウイルス（COVID-19）の抑制作用も確認しております。

グリコサミノグリカン（美容データ）



コラーゲン産生（美容データ）



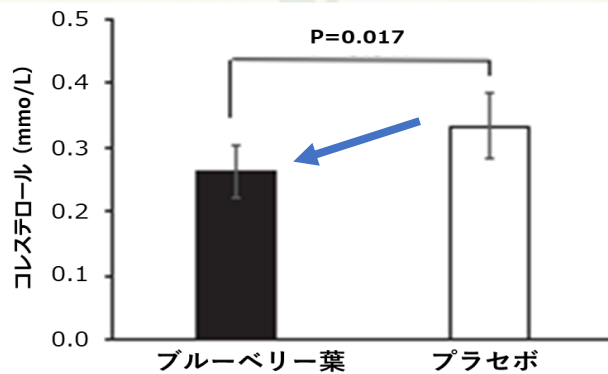
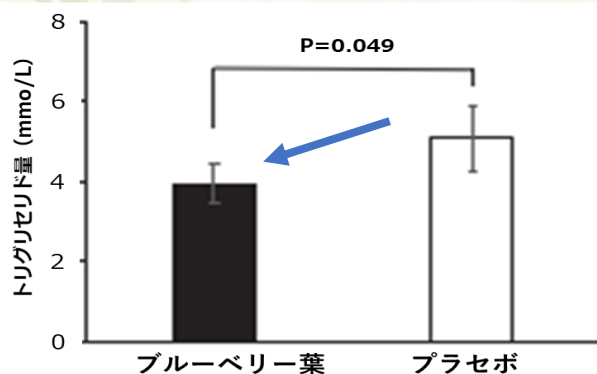
グリコサミノグリカンは美容や軟骨に関係する表皮と真皮の境の膜（基底膜）を構成している成分で、真皮の水分や肌の柔らかさを保つために重要な成分になります。ブルーベリー葉を添加することでグリコサミノグリカン量が増加しました。また、ビタミンCにブルーベリー葉を添加することでビタミンC単体よりもコラーゲンの産生量が大幅に増加することが確認され、美容効果が期待できます。

ヒト臨床試験（抗メタボ）

単回投与でのブルーベリー葉由来のプロアントシアニジンが高脂肪食摂取時に与える影響

試験：空腹時TG（トリグリセリド）が100mg/dl～ 199mg/dlの男女10名（平均年齢46.3歳）

ブルーベリー葉粉末：847mg/日 ※単回投与試験



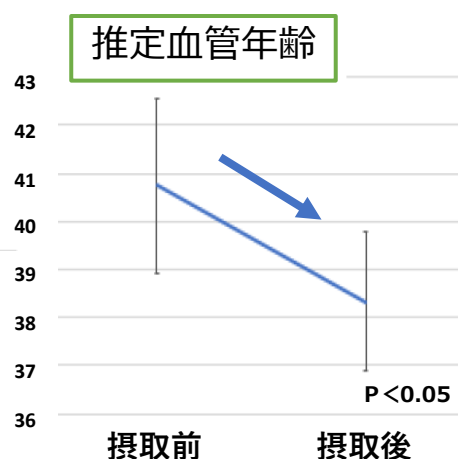
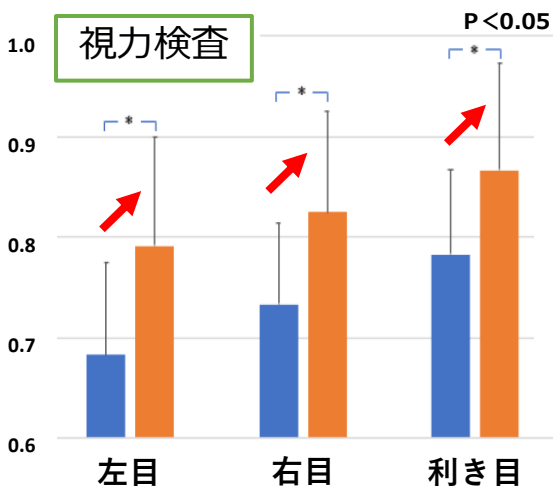
トリグリセリド量とコレステロールともにブルーベリー葉摂取により有意に減少していることが確認された。ブルーベリー葉は高脂血症（中性脂肪）やメタボリックシンドロームの予防に有効であることが示唆されました。 肝臓脂肪蓄積抑制剤で特許取得（特許第4568809号）

ヒトモニター試験（アイケア、美容）

・VDT作業で、目の疲労を感じている男女12名（平均年齢40.1歳）

※負荷試験（パソコン作業）後に試験を実施。

ブルーベリー葉粉末 摂取量：270mg/日相当 摂取期間：4週間



視力検査はブルーベリー葉摂取後に改善され、目元の肌弾力に関しても有意に改善されていることを確認した。また、推定血管年齢も摂取後に若返っていることを確認した。

・商標に関して

「Tie2 PLUS」のロゴの商標はブルーベリー葉粉末：270mg/日以上配合により使用可能です。

※当社の登録商標の使用を希望される場合は、当社への事前の連絡および当社の許諾が必要となります

会社名：株式会社ビオラボ
兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-4 神戸健康産業開発センター301号
TEL：078-265-1833 FAX：078-265-1834

・無断複写、流用は著作権法上、禁じられています。転載を希望される場合は、事前に弊社までご連絡ください。
・消費者向け製品発売の際には、医薬品医療機器法・景品表示法等の関連法規を順守してください

